

## Ⅱ 八尾市の緑の課題

## ～緑の現状と市民アンケート～

### 【緑の現状】

- ①憩い・レクリエーション及び豊かな自然にふれあえる場所として利用されていないが、近年、東部山地・山麓で農林等の生産活動に携わる人が減少  
→課題1
- ②河川・水路の人工護岸化、多様な環境を有する農地並びにため池の喪失等、市民が身近にふれあえる水、緑の減少  
→課題2
- ③都市公園の整備進捗は全国平均並びに大阪府内の平均整備率を下回っており、整備が遅れている状況  
→課題3
- ④市街化の進展に伴う、人工的な舗装や人工構造物の増大による緑化スペースの減少  
→課題4
- ⑤公園をきれいにする等のボランティア団体の活動は、まだ数が少なく、今後に活動の活発化が期待される状況  
→課題5

### 【アンケートのまとめ】

- ①本市を特徴づける緑として高安山等東部山地・山麓の豊かな自然の緑が認識されている。  
→課題1
- ②玉串川、長瀬川、平野川等河川並びに水路の周辺や、渋川神社、顕証寺等の社寺等の緑は、本市を代表する緑として市民に認識され、また親しまれている。  
→課題2
- ③半数以上の方が身近な公園が少ないと感じている。  
→課題3
- ④窓辺や廊下を鉢植えて飾ったり、庭木を増やしたいと考えている人が多い。  
→課題4
- ⑤樹木・花の世話や手入れをするボランティア活動をしたい人や、ボランティア活動に月1回程度であれば参加できると考えている人が最も多い。  
→課題5



### ■課題1：緑の骨格となる東部山地・山麓の保全

将来に良好な緑を残すため、緑の保全について検討がはじめられています。

### ■課題2：市民が身近に水、緑、歴史・文化とふれあえるよう市街地に点在するこれらの水と緑を結ぶ

河川や水路の周辺と点在する社寺等の緑を結び、市民が身近に緑とふれあい憩えるよう緑のネットワーク化を図ることが必要です。

### ■課題3：地域住民の利用に供する身近な公園・緑地の整備

市街化の進展により、まとまった用地の確保が困難な状況ですが、市全体の配置バランスを考慮し、かつ計画地周辺の学校などの公共公益施設のオープンスペース等の連携も考慮した上で、比較的面積が広い地区公園並びに近隣公園の機能をもつ都市公園・緑地の計画を策定し、整備を図る必要があります。

### ■課題4：公有地、民有地を問わないきめ細かな緑化の促進

公有地、民有地を問わず、緑化可能なスペースにおいては、市民・企業・行政が一体となったきめ細かな緑化に取り組む必要があります。

### ■課題5：市民・企業・行政が連携した緑の育成及び管理の推進

緑化推進、花・緑の育成並びに管理等に市民・企業・行政が連携し一体となって、より広範囲な人々の活動が可能となるような施策の展開が必要です。